

らい

# 来るふらり

58/59

(合併号)

春はあけぼの…

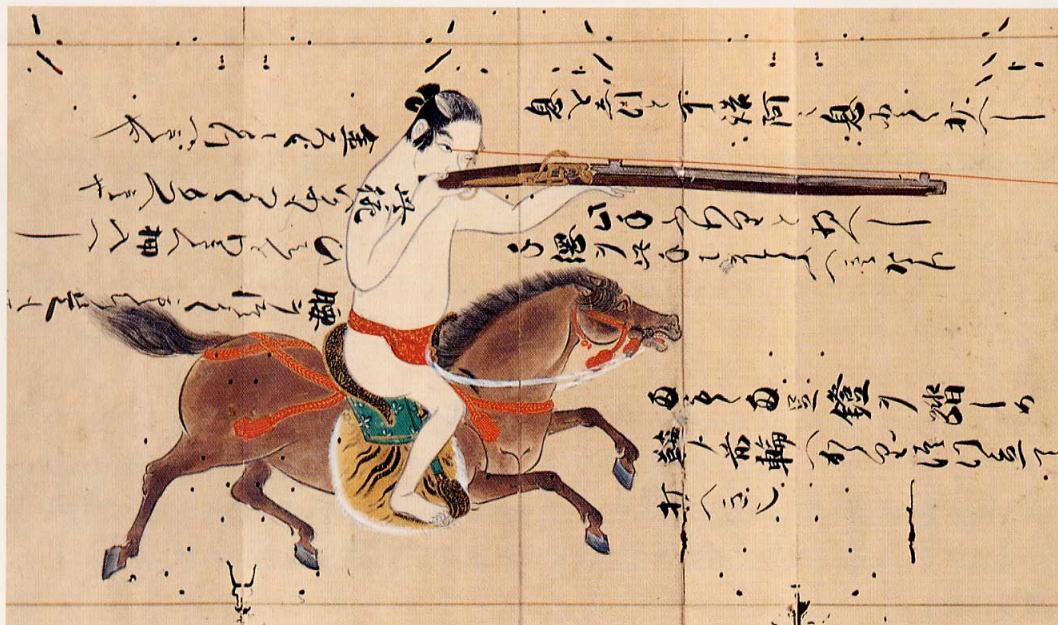
## 貴重書 あ・ら・かると

整理課長 境 経夫

### 「貴

重書なんて、超れどろじやん！」なんて人も居そうだが、<春はあけぼの>、<昔、男ありけり>などの文章には受験勉強のほろ苦い感傷がちょっぴり、なんてことは？本学所蔵では、『枕草子』『伊勢物語』『蜻蛉日記』の3点が有名ブランド。前2点は、旧号でも紹介した中世歌学の名家、三条西家旧蔵の『伝能因本』『伝定家筆本』、加えて『蜻蛉日記』も『契沖真跡本』と呼ばれる上田秋成の自筆奥書付。いずれも室町末期までに手写され、由緒来歴あり学術的価値も高い。授業や論文作成、学術出版などに掲載されたほか、最近はTV放映やビデオ作成、外部の展示などにも度々利用されている。

(4面へづづく)



(稻富流砲術伝授書『極意：三拾二相人形之絵図』より)

# 稻富流砲術伝授書



— 学習院大学図書館所蔵 —



(稻富流砲術伝授書『極意：三拾二相人形之絵図』より)



(稻富流砲術伝授書『極意：三拾二相人形之絵図』より)

## いな 稻

富一夢 (1551-1611、名は直家、のちに祐直と改名、剃髪して一夢と号す) は、祖父直時から銃術を学び、のちに火薬の配合や発射姿勢など自己の創意を加えて一流を開いたといわれている。

一夢は初め丹後田辺の城主一色氏に仕えたが、のちに細川忠興に仕え、朝鮮出兵にも伴い、加藤清正とともに活躍した。その後、忠興に追われる身となったが、彼の技術を惜しんだ尾張清洲の松平忠吉に救われ、名古屋に砲術の門戸を開いた。ついで江戸へ出て將軍秀忠に秘伝を受け、幕府の鉄砲政策にも参画した。晩年は尾張の徳川義直に仕え、駿府に没した。

## 松

本清張の小説『火の縄』は、一夢斎稻富直家の生涯を描いた作品である。取材のため、同氏が当館を訪れこの伝授書を閲覧し、火縄銃の撃ち方などの参考にしたというエピソードがある。

一夢が門人に授けた伝授書は、その豪華さで有名である。正しい射撃姿勢を知らせるため射手を裸形で示し、また照尺を用いて遠距離射撃を順次図解したことなど、この流の合理性と斬新さをうかがわせる。

当館で所蔵する伝授書は『一流一片の書』慶長12年(1607)11帖、『極意』慶長15年(1610)9帖、『一大事極意書物』同年9帖の計29帖からなる折本である(11×25cm、写本)。

(編集委員)

## (1面よりつづく)

せいしょうなごん ふじわらのみちづなのほは  
清少納言、藤原道綱母などの名前はおなじみだが、作者不詳の『伊勢物語』には、類似の写本が数百現存すると言う。昔は原本をまず筆写し、それをまた誰かが手写する繰り返しの中で、文字の誤り以外に語や文までが改変され、時代によって数種の系統本に枝別れしたらしい。

灯下親しむ秋の夜、四百年以上もの時間を経たこれらの古典に一人向かい合い、古人の心・息吹に触れて見てはいかが?何なら、現代作家の意訳などから手にとるのも面白い。他に年代物では『保元物語』『平治物語』『色葉字類抄』、近世では『稻富流砲術伝授書』〔※今回特集〕『日本沿岸地圖』(通称『伊能図』)などが逸品。伊能図は伊能忠敬が自ら測量したわが国最初の実測図。シーボルト事件を惹起した。大、中、小の縮尺あり、本学所蔵の『伊能中図』も8軸物、精密な肉筆彩色には思わず目を瞠る。今回特集の写真やリストなどをきっかけに、皆さんも往時の社会や風土に思いを馳せてほしい。

最近、これまでガラス越しに眺めるだけの貴重資料を、パソコン画面上で見たりページを繰るなどの疑似体験できるバーチャル技術が開発されつつあり、インターネット上でその風姿を味わえる日も間近いことだろう。

## 本学所蔵のその他の主な貴重書（和古書）

ちゅうようしおう  
『中庸鈔』(慶長19年 写本)

『異國条約』(嘉永一安政 写本)

しゅうかじしょう おおつかよしき  
『拾芥抄』(寛永整版 大塚嘉樹書入本)

さんぶしおう  
『三部抄』(慶長年間 写本)

ひやくにんいつしゆそうぎしょう  
『百人一首宗祇抄』(文明本 写本)

や  
『いわ屋のさうし』(室町末期 写本)

えいが  
『栄華物語』(文明一永正頃 写本)

ここんちょもんじゅう  
『古今著聞集』(延宝頃 写本)

こきしょうよう  
『古器照様』(正徳6年 写本)

おらんだじょうこくぶん  
『荷蘭上告文』(寛文6ー文政9年 写本)

こきんわかしゅう  
『古今和歌集』(文明2年 正広写本)

つゝくばしゅう  
『菟玖波集』(安永5年 写本)

みず ふくすみきよかぜ  
『をられぬ水』(福住清風著 天保6年 福住久樹写本)

『うつほ物語』(無刊記 古写本)

きのう きょう  
『昨日は今日の物語』(無刊記 写本)

やまとものかたりさんちゅう  
『大和物語纂註』(無刊記 写本)

\*『来ぶらり』51~55号、『輔仁会雑誌』199号などにも本学所蔵の貴重書に関する紹介記事が掲載されています。

(編集委員)

## 参考資料

『国史大辞典 1』(吉川弘文館)

『国書総目録』(岩波書店)

『日本大百科全書 2』(小学館)

『火の縄』(講談社文庫) ほか

来ぶらり No.58/59(合併号) 1997年10月1日発行

発行責任者:森田道也 編集委員:石井博幸 藤田美佐子

学習院大学図書館 〒171 東京都豊島区目白1-5-1

☎03 (3986) 0221